

防災せたがや

烏山地域版 第24号

《発行日》 令和6年2月1日
《発行者》 烏山地域区民防災会議
《事務局》 烏山総合支所地域振興課
地域振興・防災担当
《所在地》 世田谷区南烏山6-22-14
《電話》 3326-9249

今年度から、多くのイベントが本格的に再開し、防災事業も大きく動き始めました。

5月14日(日)
烏山小学校 避難所体験
& 防災フェス
(烏山小学校)
参加者 355名



前日の雨天の影響で体育館・ピロティでの開催となりましたが、多くの方が初期消火訓練やAED救命訓練などを体験しました。

6月10日(土)
合同総合水防訓練
(多摩川河川敷
: 多摩川遊園)
参加者 333名



出水期を前に多摩川氾濫や内水氾濫などの水害に備える訓練が行われました。

6月18日(日)
芦花小・中学校避難所体験
& 防災フェス
(芦花小・中学校)
参加者 479名



災害時の避難所運営や非常時の様々な対応方法を体験しました。

6月25日(日)
烏山地区防災訓練
(烏山中学校) 参加者 553名



多くの参加をいただきました。
〔応急救命訓練の様子〕

9月10日(日)
防災資機材等操法研修会
(烏山小学校) 参加者 42名



消防署の協力のもと、スタンドパイプの訓練を実施。この他、初期消火の手順を確認しました。



11月26日（日）
上北沢地区防災フェア
（上北沢小学校）

参加者 384名



雨模様の寒い中でしたが、起震車による地震体験や非常食試食会(カレー)など、充実した内容で行いました。

12月15日（日）
烏山地域 区民防災会議
バス研修会

（陸上自衛隊 朝霞駐屯地 他）
参加者 25名
災害時の自衛隊の支援拠点となる場所を視察しました。



この他にも各避難所運営訓練や救命講習など、災害への備えに取り組む事業を行いました。

コロナ禍で多くの事業がやむなく縮小・中止とされましたが、イベント再開を通して日ごろから防災意識を持ち続ける大切さを再認識いただけたのではないのでしょうか。



ヒ ナ シ × ジ タ ク

“避難”というと「避難所に向かうこと」と連想される方も多いかと思いますが、在宅避難という選択肢もあり、それには多くのメリットがあります。

- ・ 感染症やトラブルにあうリスクが軽減します。
- ・ 集団生活を前提とした避難所とは違い、生活のリズムやスペース、プライバシーも守れ、精神的な負担も軽くなります。
- ・ 特に、小さなお子様がいらっしゃるご家庭やペットと一緒に生活されるご家庭の皆様については普段の環境を保ったまま、避難生活を送ることができます。



在宅避難の準備として住宅の耐震化や備蓄の準備を行いましょう。最近ではホームセンターなどいろいろなお店で在宅避難グッズを販売しています。特に食料品についてはローリングストックを意識した備蓄を心掛けましよう。準備や工夫次第で、ご自宅を最も快適な避難所にすることができます。